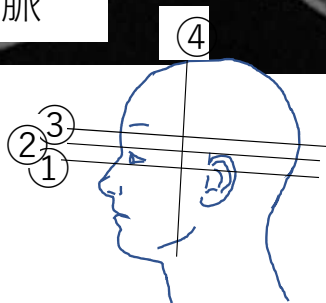
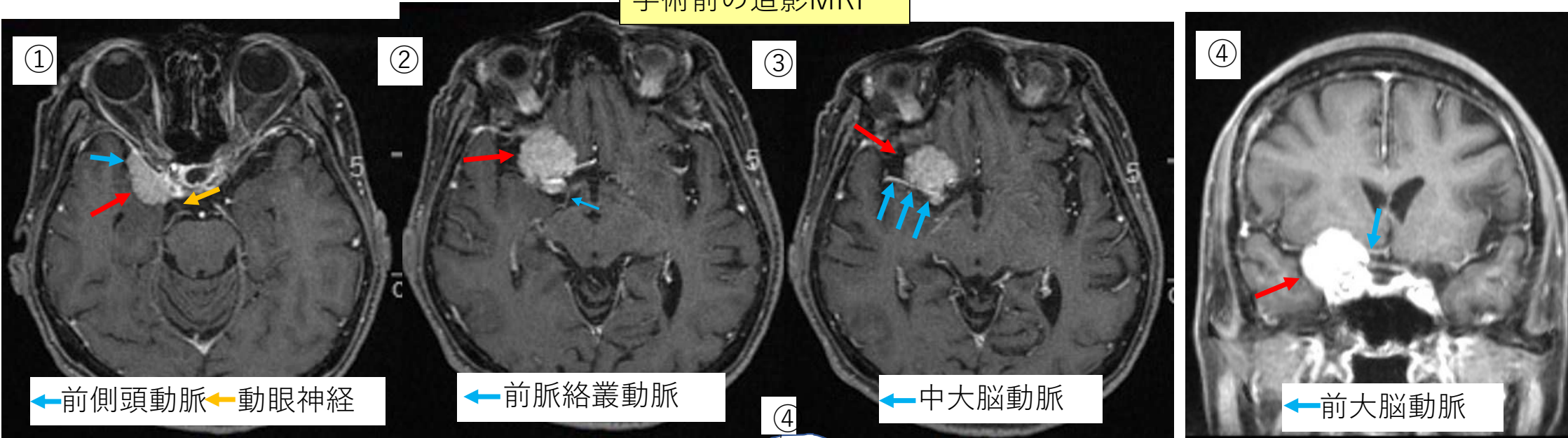


症例11：歩行時ふらつきの精査のため脳MRIを受けて右前頭葉から側頭葉の底面の比較的大きな頭蓋底腫瘍→を指摘されました。

腫瘍は、右第3脳神経（動眼神経）・内頸動脈・中大脳動脈・前脈絡叢動脈・後交通動脈をまきこみ、第1脳神経（嗅神経）・第2脳神経（視神経）に近接していることが手術前検査で明らかになり、全てを温存しかつ腫瘍を全摘出する手術計画を練りました。手術中の出血を防ぐため手術前に腫瘍血管の塞栓術を行い、2日後に開頭腫瘍摘出術を行いました。

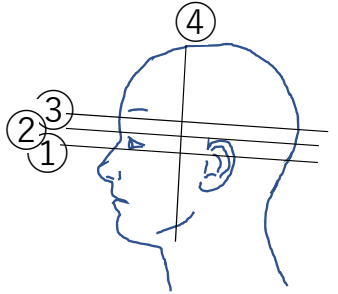
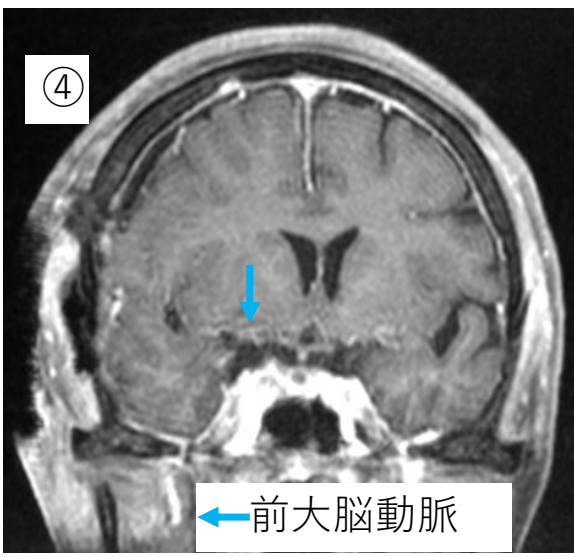
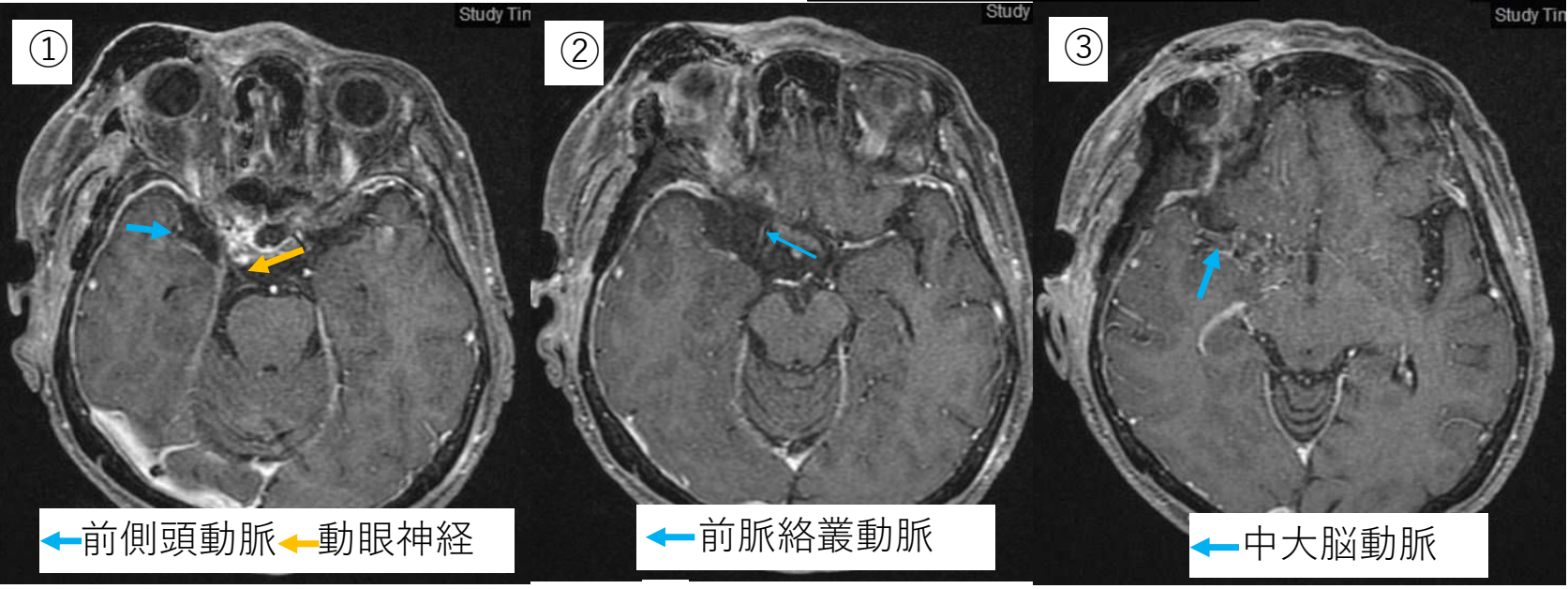
手術前の造影MRI



手術プランの通りに、すべての脳神経と動脈を損傷することなく腫瘍を全摘出しました。
手術後神経症状なく、手術12日目に歩いて自宅退院されました。

頭蓋底腫瘍に対する手術は、①徹底的な手術前検査②脳神経や脳の構造や機能に対する深い知識に基づくち密な手術計画③手術中ナビゲーションや神経機能モニタリングの駆使④繊細な手術手技など脳神経外科手術の中でも特別難しい手技が必要とされています。

手術2日目の造影MRI



上図の←第3脳神経（動眼神経）、←内頸動脈・中大脳動脈・前脈絡叢動脈・浅側頭動脈などを傷つけることなく、腫瘍を全摘出しました。